

◆ 企業倫理論演習 ◆



藤原 七重

CSRやSDGsを巡る企業活動は一般的になりつつある。イノベーションは単なる技術革新ではなく、新しいと知覚されたアイデアや習慣であるというロジャーズの視座に経てば、この十数年にわたるCSRやSDGs活動の一般化もある種のイノベーションの普及と捉えられるだろう。私個人としては、このような視点から、イノベーションが正当性を確保して普及し、社会に変革をもたらすプロセスに関心を持っている。とくに近年は、我が国のフィンテック産業の普及プロセスを通して、イノベーションの正当性の確保における倫理や社会的規範の関わりというテーマに取り組んでいる。それゆえ、演習においては、倫理や規範、企業と社会に関する文献にとどまらず、イノベーションの普及や正当性に関する文献なども幅広く輪読する予定である。

演習への参加を希望する学生については、①指導教員の研究領域と自分自身の研究テーマとの関わりがあること、②学部レベルの経営学全般の知識を身につけていること、③指導教員頼みではなく、関連分野の先行研究(和文献だけでなく英語文献も含む)を自分から渉猟するなどして主体的に研究に取り組むことの3点を求める。なお、統計学を利用した実証分析を学びたい学生については他の演習を選択すること。